

# I 令和4年度事業報告書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

当財団は、埼玉会館及び彩の国さいたま芸術劇場の指定管理者として、令和2年度から5年間の指定を受け、質の高い舞台芸術作品を創造、発信するとともに、県民の芸術文化活動の支援に関する取組を実施している。

また、近年、社会情勢の変化や芸術文化関連法案の改正等により、社会包摂、地域貢献、芸術教育など芸術文化や公共劇場に求められる役割が多様化していることを踏まえ、当財団の目指すべき方向性として策定した組織運営理念【ミッション・ビジョン】の実現に向けて事業運営に取り組むとともに、経営改革も進めている。

## 【ミッション】

「Art for Life - すべての人生に芸術を - 」

## 【ビジョン】

「アートでつなぐ - 人・地域・世界 - 」

- (1) 世界に通用する舞台芸術を創造・提供する
- (2) 県民に対し満足度の高い芸術文化活動の実践の場を提供する
- (3) 社会や地域の課題に対し芸術文化活動を通じてその解決に貢献する

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により1事業3公演の中止や施設利用のキャンセルなどの影響を受けたが、業種別ガイドラインを踏まえた感染症対策等を徹底し、来場者及び利用者に理解を求めながら、安全・安心な事業運営に努めた。

その結果、彩の国シェイクスピア・シリーズを始め、海外舞踊公演の招聘や世界的に評価される著名アーティストが演奏する音楽公演など、48事業146公演を開催した。なお、シェイクスピア全37戯曲の完全上演を目指し、故蜷川幸雄芸術監督の監修・演出のもと平成10年からスタートした彩の国シェイクスピア・シリーズは、令和2年に新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった「ジョン王」の上演をもって全作品の上演が終了した。

また、令和4年4月1日に芸術監督へ就任した近藤良平氏は、新体制のテーマとして「クロッシング」を掲げ、様々なジャンルのアーティストが刺激を与え合い、交わり合っって舞台作品を創作する〈ジャンル・クロス〉として「新世界」と「導かれるように間違ふ」の2作品を上演したほか、幅広い世代を対象とした、彩の国さいたま芸術劇場オープンシアター「ダンスのある星に生まれて2022」を開催した。

## 1 事業の概要

### (1) 舞台芸術作品の提供等に関する事業

事業数：48事業

公演数：146公演

入場者数：45,445人 ※オンライン参加者含む。

#### ア 自主企画公演等及び国内外との交流（48事業146公演）

当財団の事業戦略を踏まえて、自主企画公演等を実施した。また、他施設や他団体とのネットワークを活用して、共催事業を実施した。

#### (ア) 世界に通じる演劇・舞踊・音楽とその融合・発展（8事業41公演）

- ・国内外からの埼玉県の芸術文化への評価を高めるため、芸術性の高い舞台芸術作品や様々な分野のアーティストとの協同による新たな芸術領域の作品などを創造し、国内外へ発信した。
- ・新芸術監督である近藤良平氏が掲げる指針の一つである〈ジャンル・クロス〉に挑んだ作品、「ジャンル・クロスⅡ 近藤良平×松井周『導かれるように間違えよう』」では、演劇とコンテンポラリーダンス、両ジャンルのクリエイターがコラボレートすることにより、双方のジャンルの顧客が舞台芸術そのものを楽しめる場を創出し、劇場をより豊かな場所にすることができた。
- ・平成16年のアテネオリンピックの開閉会式セレモニーの演出をしたギリシャを代表する振付家ディミトリス・パパイオアヌーによる新作「TRANSVERSE ORIENTATION」を上演することにより、世界的に活躍するアーティスト、振付家の作品に触れる貴重な機会を提供することができた。
- ・当財団制作による発信事業としてこれまでも好評を博している「彩の国シェイクスピア・シリーズ」では、「ヘンリー八世」と「ジョン王」の2作品を上演した。シリーズのファンやリピーターのみならず、普段演劇公演を鑑賞しない若年層に対しても、質の高い作品鑑賞機会の提供をすることができた。
- ・日本を代表するNHK交響楽団による演奏会では、世界で活躍する指揮者とピアニストを迎え、従来の愛好家の要望に応えると同時に、一度「N響」を聴いてみたい、あるいは高齢のため遠方まで足を運ぶことが難しいと考えている県民に、日本のトップ・オーケストラの演奏を身近で鑑賞できる機会を提供した。

事業名	実施時期	会場	入場者数 (人)
<b>クラシック</b> ジャンル・クロスⅡ 近藤良平×松井周 『導かれるように間違え』 <b>【1事業8公演】</b> <small>※公演関係者に新型コロナウイルス感染症の陽性反応が確認されたため、2公演を中止した。</small>	7月10日(日) ～18日(月・祝)	芸術劇場 小ホール	1,461
<b>舞踊</b> デイミトリス・パパイオアヌー 『TRANSVERSE ORIENTATION』 <b>【1事業4公演】</b>	7月28日(木)～ 31日(日)	芸術劇場 大ホール	2,383
<b>舞踊</b> 岡田利規 『わたしは幾つものナラティブ のバトルフィールド』 <b>【1事業6公演】</b>	9月1日(木) ～4日(日)	芸術劇場 小ホール	807
<b>演劇</b> 彩の国シェイクスピア・ シリーズ『ヘンリー八世』 <b>【1事業11公演】</b>	9月16日(金) ～25日(日)	芸術劇場 大ホール	7,740
<b>音楽</b> クロノス・クアルテット 「ブラック・エンジェルズ」 <small>※日本への入国ビザの取得手続きにおける不測の事態によって、予定していた日程でのアーティストの来日が不可能となったため、公演を中止した。</small>	<b>【公演中止】</b>	芸術劇場 大ホール	—
<b>音楽</b> NHK交響楽団 アレクサンダー・リープライヒ(指揮)、 小菅優(ピアノ) <b>【1事業1公演】</b>	10月2日(日)	埼玉会館 大ホール	1,205
<b>舞踊</b> マギー・マラン『MayB』 <b>【1事業2公演】</b>	11月19日(土) ～20日(日)	埼玉会館 大ホール	1,417

事業名	実施時期	会場	入場者数 (人)
<b>音楽</b> バッハ・コレギウム・ジャパン ベートーヴェン「第九」 <b>【1事業1公演】</b>	12月3日(土)	埼玉会館 大ホール	1,025
<b>演劇</b> 彩の国シェイクスピア・ シリーズ『ジョン王』 <b>【1事業8公演】</b>	2月17日(金) ～24日(金)	埼玉会館 大ホール	9,718

(イ) 芸術実践・鑑賞層の拡大（33事業57公演）

- ・次代の舞台芸術を担う人材の育成を図るため、若手ダンサーや演奏家、落語家等を起用した公演を実施したほか、演出家、振付家等による創作や発表の場を提供した。また、大学等と連携し、当劇場の職員が講師を務める講座等を実施した。
- ・「ジャンル・クロスⅠ 近藤良平 with 長塚圭史『新世界』」では、ダンスや演劇、サーカス、音楽、切り絵など、多彩なアーティストの交わりによってジャンルを超えた新たな作品を提供することができた。
- ・平日の昼に開催している埼玉会館ランチタイム・コンサートでは、これまであまり会館に足を運んだことのない方に対して、このコンサートを入口として音楽への関心を広げることができた。
- ・親子を対象とした、日本の昔話を題材としたダンス作品「日本昔ばなしのダンス『じごくのあばれもの』『ごんぞうむし』」では、親しみやすい題材で一流のアーティストの優れた舞台芸術に触れることで、子供たちの感性や芸術に対する幅広い興味を育み、親子間のコミュニケーションのきっかけをつくることができた。
- ・若い世代に芸術の体験機会を提供する小・中学校へのアウトリーチ事業として、プロの振付家、ダンサーによるダンス・ワークショップやプロの演奏家による生演奏の鑑賞機会を提供した。優れた芸術家の直接的な指導による本格的なワークショップや普通のコンサートとは違った身近な距離で音楽を聴き、体験できる生演奏会を通じて、生徒たちが芸術に対して親しみや理解を深めるきっかけを提供した。

事業名	実施時期	会場	入場者数 (人)
音楽 みんなのオルガン講座 【4事業5公演】	4月3日(日)～ 9月11日(日)	芸術劇場 練習室 情報プラザ	195
その他 彩の国さいたま寄席 ～四季彩亭 【4事業4公演】	4月16日(土) 8月6日(土) 12月4日(日) 2月3日(金)	芸術劇場 小ホール、 埼玉会館 小ホール	1,196
その他 芸術監督トークシリーズ 【1事業3公演】	4月19日(火) 9月6日(火) 1月12日(木)	芸術劇場 音楽ホール ほか	198 (音楽ホール分)
音楽 光の庭プロムナード・コンサート 第130～132回 【3事業3公演】	4月23日(土) 5月21日(土) 6月25日(土)	芸術劇場 情報プラザ	353
クロッシング ジャンル・クロス I 近藤良平 with 長塚圭史 『新世界』 【1事業3公演】	4月29日(金・ 祝) ～5月1日(日)	芸術劇場 大ホール	1,744
演劇 ノゾエ征爾演劇ワークショップ 【1事業1公演】	4月1日(金) ～5月6日(金)	芸術劇場 小ホール	138
音楽 イレブン・クラシックス Vol.5 大萩康司 (ギター) &江戸聖一郎 (フルート) 【1事業1公演】	5月18日(水)	芸術劇場 音楽ホール	320
舞踊 コンドルズ埼玉公演 2022 新作『Starting Over』 【1事業3公演】	6月4日(土) ～5日(日)	芸術劇場 大ホール	1,881

事業名	実施時期	会場	入場者数 (人)
<b>音楽</b> 埼玉会館ランチタイム・コンサート 第53回～第56回 <b>【4事業4公演】</b>	6月24日(金) 10月26日(水) 2月3日(金) 3月30日(木)	埼玉会館 大ホール	4,166
<b>音楽</b> 大塚直哉レクチャー・コンサート バッハ“平均律”前夜～月明り のもと書き写した楽譜たち～ <b>【1事業1公演】</b>	7月3日(日)	芸術劇場 音楽ホール	475
<b>音楽</b> ピアノ・エトワール・シリーズ Vol.44 三浦謙司ピアノ・リサイタル Vol.45 松田華音ピアノ・リサイタル <b>【2事業2公演】</b>	7月18日(月・祝) 9月17日(土)	芸術劇場 音楽ホール	713
<b>音楽</b> ユナイテッド・ユーロプラス・クインテット <b>【1事業1公演】</b>	7月30日(土)	芸術劇場 音楽ホール	496
<b>舞踊</b> さいたまダンス・ラボラトリ Vol.6 (2022) <b>【1事業】</b>	8月2日(火) ～6日(土)	芸術劇場 大稽古場	23 (参加者)
<b>音楽</b> 光の庭プロムナード・コンサート 夏休みスペシャル <b>【1事業2公演】</b>	8月20日(土)	芸術劇場 情報プラザ	214
ワークショップ・アラカルト <b>【1事業10公演】</b>	9月19日(月・祝) ～24日(土)	芸術劇場 大稽古場	205
<b>舞踊</b> 「日本昔ばなしのダンス」 地方ツアー <b>【1事業】</b>	2月19日(日)	岡山市	-

事業名	実施時期	会場	入場者数 (人)
舞踊 子どもと大人のためのダンス 「日本昔ばなしのダンス」 『じごくのあばれもの』 『ごんぞうむし』 【1事業4公演】	3月25日(土) ～26日(日)	埼玉会館 大ホール 舞台上	624
その他 舞台技術講座 【1事業】	3月28日(火) ～30日(木)	埼玉会館 小ホール	49
舞踊 MEET THE DANCE～アーティスト が学校にやってくる！ 【1事業4公演】	通年	県内中学校	347
音楽 MEET THE MUSIC～アーティスト が学校にやってくる！ 【1事業6公演】	通年	県内小・中 学校	219
その他 大学生インターンシップ 【1事業】	通年	芸術劇場、 埼玉会館	5 (受入人数)

(ウ) 社会課題の解決に貢献する芸術活動の推進（3事業37公演）

- ・芸術文化を通して社会包摂の実現に貢献するため、子どもから大人まで障がいの有無や国籍にかかわらず、多様な人々が芸術文化に参加できる公演等を実施した。
- ・彩の国さいたま芸術劇場オープン・シアター「ダンスのある星に生まれて2022」では、ダンスと音楽のクロス、また絵画など多彩な表現のなかにダンスを発見してもらう企画によって、ジャンルが交わる新しい表現を示すことができた。また、盆踊りやパレードなどでは来場者が共に表現する喜びを共有し、人々がクロスする広場としての劇場の魅力を発信することができた。さらに、さいたま市中央区と連携し、駅と劇場とを結ぶ道筋ではキッチンカーでの販売やトゥクトゥクの乗車体験を実現し、地域を巻き込んだ賑わいを創出することができた。

- ・パーキンソン病患者のために開発されたダンス・プログラムのワークショップをスターダンサーズ・バレエ団と定期開催した。オンライン配信で実施することで、病気により外出が困難な人々にも音楽に合わせた身体表現を楽しむ機会を提供することができた。

事業名	実施時期	会場	入場者数 (人)
<b>その他</b> 彩の国さいたま芸術劇場オープンシアター 「ダンスのある星に生まれて2022」 <b>【1事業24公演】</b>	8月20日(土) ～21日(日)	芸術劇場 大ホール ほか	2,259
<b>舞踊</b> パーキンソン病患者のための ダンス・プログラム <b>【1事業12公演】</b>	通年	オンライン	484
<b>その他</b> バリアフリー・セミナーVol.2 〈ソフト編：情報保障のための の字幕活用〉 <b>【1事業1公演】</b>	2月16日(木)	埼玉会館 ラウンジ	68

(エ) 共催（4事業11公演）

- ・本県の芸術文化の振興に寄与する芸術性の高い公演等を共催公演として実施した。
- ・日本のダンス界を牽引するNoismの最新作「鬼」を上演し、県民に多様な舞台芸術に触れる機会を提供した。
- ・日本の現代演劇を牽引する藤田貴大氏の代表作「マームとジプシー『cocoon』」を当劇場で初めて上演することにより、更なる演劇ファンの獲得、拡大につなげた。



事業名	実施時期	会場	入場者数 (人)
<b>音楽</b> 加藤訓子プロデュース ヤニス・クセナキス生誕100周年記念 META-XENAKIS「クセナキスと舞」 <b>【1事業2公演】</b>	5月12日(木) ～13日(金)	芸術劇場 小ホール	275
<b>舞踊</b> Noism×鼓童『鬼』 <b>【1事業3公演】</b>	7月8日(金) ～10日(日)	芸術劇場 大ホール	1,257
<b>音楽</b> ピアノデュオ ドゥオール デュオ・セミナー創造の4日間 in 彩の国さいたま芸術劇場 <b>【1事業1公演】</b>	8月3日(水) ～6日(土)	芸術劇場 音楽ホール	100
<b>演劇</b> マームとジプシー『cocoon』 <b>【1事業5公演】</b>	9月1日(木) ～4日(日)	芸術劇場 大ホール	1,690

## イ 企画展示・広報等

### (ア) 企画展示事業

彩の国さいたま芸術劇場内の情報プラザ、ギャラリーを活用し、財団主催事業の紹介や舞台芸術への関心を高めるための企画展示を開催した。

#### a 「ダンスは自由への入り口ー舞台写真で巡る彩の国さいたま芸術劇場のダンス・プログラム」

彩の国さいたま芸術劇場は1994年の開館以来、世界の優れたダンス作品を数多く紹介する国内でも有数の劇場として関心を持っている方が多数いる。本展では開館当初からの舞台写真を通して、当劇場のダンスの歴史の一端を振り返った。

#### b 「ディミトリス・パパイオアヌー舞台写真展」

アテネ五輪開会式の演出を手掛けたギリシャの鬼才ディミトリス・パパイオアヌー「TRANSVERSE ORIENTATION」の公演に合わせて、パパイオアヌーのこれまでの作品と舞台写真を映像で紹介する企画展を開催した。

- c 「彩の国さいたま芸術劇場オープンシアター～あれもこれもダンス展～」  
芸術監督近藤良平がプロデュースする、彩の国さいたま芸術劇場オープンシアター「ダンスのある星に生まれて」の開催に合わせて、1F ガレリアにて世界各国で人々に愛させる多彩なダンスを写真で紹介する〈世界のひとびとのダンス展〉、2F 共通ロビーでは埼玉県内の障がいのある人たちのアートを紹介する〈みんなのアートにダンスを発見！〉の2つの企画展を開催した。
- d 「彩の国シェイクスピア・シリーズ舞台写真展」  
未上演の「ジョン王」を除く、シリーズ 36 作品+番外編 2 作品の 38 作品の舞台写真を通じて、23 年の軌跡を辿る企画展を開催した。

(イ) 財団情報誌「埼玉アーツシアター通信」の発行

財団主催事業などを紹介した情報誌「埼玉アーツシアター通信」を発行した。

公演の見どころを、より分かりやすく伝えるとともに、財団の各種案内等の様々な情報を掲載し、読みやすく、かつ充実した内容となるよう、編集を行った。

- a 発行回数、部数 年6回 各 10,000 部発行
- b 配布先 財団メンバーズ、サポーター会員、マスコミ、プレイガイド、県内文化施設など

(ウ) メンバーズ事業

顧客の定着化とチケットの販売促進のため、登録会員に財団情報誌「埼玉アーツシアター通信」を送付するほか、主催事業のチケットの優先予約や割引販売などを行った。

メンバーズ会員数 4,074 人（令和5年3月末現在）

(エ) サポーター会員制度の運営

財団の活動に対し支援いただく法人等の会員組織「サポーター会員」の運営を行うとともに、会員の拡大を図った。

サポーター会員数 118 社（者）（令和5年3月末現在）

## ウ 資料収集

演劇、舞踊、音楽、映画等の分野に係る書籍、CD、DVD等を収集するとともに、当財団自主企画事業の記録映像を含めた公演資料の適切なアーカイブ化を図り、彩の国さいたま芸術劇場の舞台芸術資料室において公開した。

	資料総数	左記にかかる分野ごとの内訳				
		演劇	舞踊	音楽	映画	その他
書籍	11,460点	2,287点	628点	2,808点	713点	5,024点
CD	11,083点	9点	77点	10,588点	0点	409点
映像	3,058点	433点	498点	1,730点	173点	224点

## (2) 芸術文化活動の場の提供等に関する事業

利用者が自ら行う芸術文化活動の拠点施設として、多様なニーズに対応するとともに、施設の持つ機能を効果的に活用しながら施設の貸与を行った。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、ホールの抗ウイルス・抗菌加工や紫外線空気除菌システムの使用のほか、マスク着用や消毒、換気など、業種別ガイドラインを踏まえた対策を徹底し、来場者及び利用者への丁寧な説明を行い、理解を求めながら安全・安心な施設の運営に努めた。

### ア 彩の国さいたま芸術劇場

彩の国さいたま芸術劇場の施設の適正な管理を行うとともに、ホール、稽古場、練習室等が十分に活用されるよう利用者サービスの充実に努めた。

ホール利用においては、貸館部門と舞台技術部門の連携を図ることで技術的な提案を実施するなど、利用者の問い合わせや要望に対し適切かつ迅速に対応した。また、「劇場等演出空間の運用及び安全に関するガイドライン」を配布し、利用者の安全に対する意識向上にも取り組んだ。

なお、令和4年度は10月3日から大規模改修工事により休館となったため、施設の貸出しは4月1日から10月2日までの約6か月間となった。

総来場者数 130,797人

### 施設の利用状況

施設等の名称	利用可能日数	利用日数	利用率
ホール	569日	437日	76.8%
稽古場・練習室	1,972日	1,709日	86.7%
計	2,541日	2,146日	84.5%

## イ 埼玉会館

施設の適正な管理を行うとともに、ホール、会議室、展示室等が十分に活用されるように、会議室では時間無制限でつながることができるWi-Fiにより、オンライン会議にも対応できる環境を整え、利用者サービスの向上に努めた。

また、施設の活性化と利用促進のために大型催事の誘致を行うほか、施設の空き情報の提供、SNSによる情報発信等を行い、利用率の向上に努めるほか、ホームページ及び、浦和の地域情報サイト「まいふれ浦和」に掲載して、わかりやすく充実した利用案内や施設利用情報の提供、貸館公演の広報支援など、サービスの充実を図った。

総来場者数 395,509人

### 施設の利用状況

施設等の名称	利用可能日数	利用日数	利用率
ホール	639日	568日	88.9%
展示室	838日	437日	52.1%
会議室	6,202日	4,643日	74.9%
計	7,679日	5,648日	73.6%

## (3) 芸術文化に係る事業を推進するための付帯事業

芸術文化に係る事業を推進するため、次の付帯事業を実施した。

### ア 各種の活動及び発表の場の提供

多目的ホールである埼玉会館において、芸術文化活動以外の講演会、講習会及びその他の催し物等について施設の貸与を行った。

### イ 駐車場及びレストランの運営

施設利用者の便宜を図るため、有料駐車場を管理運営した。

レストラン運営については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、各種対策の実施などを余儀なくされたが、施設利用者の要望にも配慮し、可能な範囲で営業を実施した。

### ウ その他公益目的事業の推進に資する事業

施設利用者の便宜を図るため、彩の国さいたま芸術劇場及び埼玉会館において自動販売機及びタクシー電話(彩の国さいたま芸術劇場)を設置した。また、施設内及び敷地内での写真や動画の撮影等を受け入れた。

### エ 埼玉会館のブランディング事業

全国に誇れる価値をもつ埼玉会館の歴史と建築を発信するため、ブランディ

ング事業を行った。セミナーやボランティアによる建物ツアーの開催など前川國男氏が設計したモダニズム建築「前川建築」である埼玉会館の多彩な魅力、特徴を様々な角度から知ってもらうことで、ブランド化による更なるイメージと認知度のアップを図った。また、埼玉会館の趣を好んだファッション誌などの撮影利用も積極的に受け入れた。

#### オ 賑わい創出と活性化のための共催・連携事業

彩の国さいたま芸術劇場では、5月から8月に月1回のストリートピアノを実施した。また、歌詞を公募し劇場で制作した「さいさい盆踊り」では、7月、令和5年3月にさいたま市中央区の複数の小学校などでワークショップを開催したほか、8月には北与野の盆踊り大会に近藤良平氏が参加し、参加者と一緒に踊ることにより大きな盛り上がりを見せた。

埼玉会館では、地域社会との連携により賑わい創出と活性化を図るため、商店会と合同で「県庁通りイルミネーション」を設置したほか、3年ぶりの開催となった「浦和区民まつり 2022」では会場として広場を提供した。また、財団自主事業の観客に対して地元商店の協力を得て各種サービスの提供を行った。

美術と街巡り・浦和実行委員会と連携して「埼玉会館エスプラナード展 2022 ～時が息づく場とアート～」を開催し、エスプラナード（屋外）への美術作品展示を展開し、施設の公共空間を活かした賑わい創出を図ったほか、障がい者アーティストと連携した企画展を開催するなど、埼玉会館を情報発信の拠点とするための取組を行った。

## 2 理事会・評議員会の開催

当財団の事業計画、予算、決算の承認、事業の状況報告等を行うため、理事会を5回（4月〔2回〕、5月、3月〔2回〕）、評議員会を4回（4月、6月、3月〔2回〕）開催した。

## 3 役職員に関する事項

### （1）役員数（令和5年3月31日現在）

	常 勤	非常勤	計	備 考
理 事 長	—	1 人	1 人	
専務理事	1 人	—	1 人	県派遣 1 人
理 事	2 人	4 人	6 人	県派遣 1 人
監 事	—	2 人	2 人	
計	3 人	7 人	10 人	県派遣 2 人

(2) 職員数 (令和5年3月31日現在)

	常 勤	非常勤	計	備 考
部 長	0 人	—	0 人	
参 事	1 人	—	1 人	
課長・副課長・ 副参事・副館長	11 人	—	11 人	県派遣 2 人
主 査	16 人	—	16 人	県派遣 3 人
主 任	18 人	—	18 人	県派遣 0 人
技 師	2 人	—	2 人	県派遣 2 人
アドバイザー	—	3 人	3 人	
参 与	—	1 人	1 人	
その他非常勤職員	—	2 人	2 人	
計	48 人	6 人	54 人	県派遣 7 人